

楽天証券、すべての投資信託 買付手数料を無料に

- ブルベアファンド含む 2,637 本が無料で購入可能！ -

楽天証券株式会社（代表取締役社長：楠 雄治、本社：東京都世田谷区、以下「楽天証券」）は、2019年12月16日（月・予定）に、楽天証券で取り扱うすべての投資信託 2,637 本^{*1}の買付手数料を無料にすることを決定しましたのでお知らせします。^{*2}

楽天証券は、お客様の資産形成の一助となるべく、買付手数料を気にせずお取引いただける商品・サービスの拡充に努めています。

2018年には、特定・一般・NISA すべての口座において、業界最多^{*3}の 86 銘柄を対象とした ETF の取引手数料を無料にする「手数料 0 円 ETF」プログラムや、投信積立の買付手数料全額ポイントバックプログラム^{*4}などを開始し、多くのお客様からご好評をいただいています。特に、投資信託は、投信積立において積立額 1%分のポイント還元が受けられる「楽天カード」クレジット決済サービスや、「楽天スーパーポイント」^{*5}などで投資信託（通常・積立）が購入できる「ポイント投資」サービス、保有残高に応じて毎月ポイントを受け取ることができるサービスなど、投資信託で資産形成を行うためのより良い環境をお客様に提供するべく積極的に取り組んでおり、投資信託の保有口座数は 2019 年 11 月末時点で前年同月比約 2 倍に増加しています。

このたび、買付手数料がかからないノーロード型の投資信託 1,362 本^{*1}に加え、新たにブルベアファンドを含むロード型、1,275 本の買付手数料も無料にすることで、楽天証券が取り扱う 2,637 本すべての投資信託の買付手数料が投信積立に限らず無料となります。これにより、資産形成層や投資初心者の方をはじめ、多くの方がこれまで以上に楽天証券の投資信託サービスでの資産形成を始めやすい・続けやすい環境が整うと考えています。

楽天証券は、今後も幅広いお客様に資産形成を始めていただくための様々なサービスを提供し、より一層の顧客基盤の拡大やお客様の満足度向上に努めてまいります。

- ※1：投資信託本数は2019年12月3日時点
- ※2：IFA口座経由でのお取引は本件買付手数料無料化の対象外
- ※3：主要ネット証券（口座数上位5社：auカブコム証券、SBI証券、松井証券、マネックス証券、楽天証券（五十音順））で比較（2019年12月3日現在、楽天証券調べ）
- ※4：買付手数料無料化に伴い、投信積立の買付手数料全額ポイントバックプログラムは終了します。詳細は追ってお知らせします。
- ※5：「期間限定ポイント」や他ポイントから交換したポイントは対象外

以上

【手数料等およびリスクの説明について】

楽天証券の取扱商品等にご投資いただく際には、各商品等に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。各商品等へのご投資にかかる手数料等およびリスクについては、楽天証券ホームページの「投資にかかる手数料等およびリスク」ページに記載されている内容や契約締結前交付書面等をよくお読みになり、内容について十分にご理解ください。

商号等：楽天証券株式会社（[楽天証券ホームページ](#)）

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会